

戦力になるか、戦力外か…。文章題は、「あなた自身の感覚」で判断します。

数学の文章題は、各単元5～6個パターンあります。そしてテストでは、そのうちの3パターンが出題されます。ここでポイントです。

普段の勉強で、6パターンを試行錯誤しているとき、こう考えてほしいのです。「このパターンC、テスト当日、10分でできるかな」と。

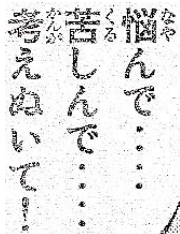
Yes ならば、そのパターンの流れを暗記するくらい、読み込んでください。No ならば、パターンCの習得は、後回しにしてください。

文章題とは、主に数学と理科ですが、地理の地形図の計算や時差計算も、同様に考えます。

一言、文章題と言っても、その難易度は、ピンからキリまであり、得意不得意も人それぞれです。あなた自身の感覚に、問いかけてほしいのです。できそうか？できなさそうか？と。

このパターン、テストの時、10分でできるかな？

これをキーワードにして、考えてみてください。



出典「天才料理少年 味の助」宗田豪氏 講談社 より

☆16 助動詞 can + 動詞の原形(応用)

現在の文で、主語が三人称単数 (I, you 以外の1人) のとき、be 動詞は is とし、一般動詞には s または es をつける。
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

★ What + 名詞 : **どんな** ~、**何の** ~ sport スポーツ : **スポーツ**

(例) **What sport do you like ?** : あなたは、**どんなスポーツ**が好きですか。

(例) **What language can they speak ?** : 彼らは、**何語**を話せますか。

問題86 適語を入れ、質問文を完成させなさい。

(1) He can play soccer. (soccer が、答えの中心となる質問を。)

_____ ?

質問文の訳 [_____]。

スポーツが答えの中心ならば、「どんなスポーツを」と、質問すると良いです。

(2) I can speak English. (English が、答えの中心となる質問を。)

_____ speak ?

質問文の訳 [_____]。

答えの文の主語が、「私は」なので、質問文の主語は、「あなたは」になります。

(3) Taro can play soccer. (下線部が、答えの中心となる質問を。)

_____ play soccer ?

質問文の訳 [_____]。

答えの中心とは、「知りたいこと」です。そこを、「誰、何、いつ、どこで…」にしましょう。

★「する」について。

問題86(3)対策

・ぼくは野球をすることができます。

このように、「する」と書いてあれば、「するは play だな」と分かります。でも実際はどうでしょうか。

「ぼく野球できるよ」のように、日本語の会話では、「する」を言わない場合が多いと思います。

ですので、文字だけを見て判断せずに、文の意味内容を理解したうえで、英語に直してほしいと思います。

1. スポーツをする → play
2. (宿題、何かを) する → do
3. 質問をする → ask a question
4. 話をする → tell a story

答えの中心語句を、「いつ」「どこ」「誰が」「何」の、どれに置き換えられるかな？と、考えてみてください。

以下のトリオは、暗記です。

- What sport : どんなスポーツ
- What fruit : どんな果物
- What language : 何語

四角語句を、線の上に練習するでござすよ。



英文には、必ず動詞が1つある。つまり、be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆16 助動詞 can + 動詞の原形(応用)

四角語句を、線の上に練習してください。



手間をかけると「力」がつく。これを利用すると、記憶力が上がります。

脳は、手間ひまかけて行われたことを、「重要だな」と感じ、「忘れないでおこう」と考えるそうです。

何か調べ物をするとき、参考書で探すとします。

- ・本を持つ (→重みを感じる)
- ・本を見る (→立体的な形を認識する)
- ・ページをめくる (→音がする、滑らかに揺れる紙を目にする)
- (→たくさんの文字が、目に飛び込んでくる)

このように、複数の五感が、鮮やかに働きます。

脳は、作業にかかったすべての手間たちを結び付けながら、得られた情報を覚えるそうです。

つまり、手間に注目すると良いのです。漢字や単語練習が良い例です。何度も紙に書いたり、何度も声に出して覚えます。習字もそうですよね。書くほどに上達します。そろばんも、スイミングも…。触れた分だけ上達します。

このように、手間を意識して、勉強と向き合ってみてください。



出典「天才料理少年 味の助」宗田豪氏 講談社 より

英文は、「主語+動詞～」でできている。
 (例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)
 これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

Who likes TV? : 誰が TV を好きなのですか。のように、

疑問詞 (Who) は、主語 (～が) になれる。そこで、

can を使うと…、Who can swim? : 誰が泳げますか。となる。つまり、

Who can 動詞の原形～? : 誰が、～できますか。の形になる。ちなみに

答える時は、 **Taro can.** : 太郎です。のように答える。

Who makes dinner? (誰が夕食を作りますか。) 疑問詞の主語は、三人称単数となる。

Who, What などの、疑問詞が主語 (～が) の場合。

● 疑問詞は、主語 (～が) になると、三人称単数扱いとなります。疑問詞+一般動詞 s～?

(例) **Who runs fast?** : 誰が速く走りますか。

このように、s を忘れずに。

問題 8 7 文を完成させなさい。

(1) 誰が上手に泳げますか。に。 swim 久美です。

_____ well? _____ .

答えるときは、主語 can. と答えましょう。

(2) あなたの妹は、英語の本を読めますか。 read an

Can _____ English book ?

(3) 私は彼のために、何ができますか。 I for

What can _____ ?

(4) 誰が夕食を作れますか。 亜紀です。

Who _____ dinner? _____ .

(5) 亜紀は、何を作れますか。 can

What _____ ?

(6) あなたは何語を話せますか。 what can

_____ speak ?

「何語」って、前のページで学んだ、暗記トリオの一員です。

(7) He can play soccer. (soccer が、答えの中心になる、質問文を)

_____ play ?

「返事の文」が先にあって、それに対しての「質問文」を作る場合。

(8) Aki can make a cake. (a cake が、答えの中心になるような、質問文を)

_____ Aki _____ ?

いつ、どこで、誰が、何を…。の、どれがびったりかを考えると良いです。

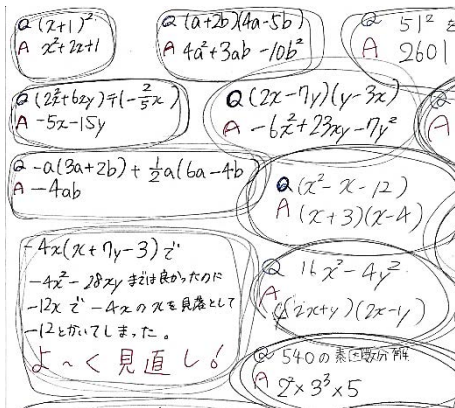
● 泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。



ワークを解き終わったあと、「寄せ書き」を作ります。

寄せ書きは、ワークを解き終え、「それでも不安」なところや、「大切な」ところを、専用ノートに書いて作ります。

以下のように書いて、ぐりぐりするだけです。
Q&A にすると、友達や親と、問題の出っこができます。お勧めです。何度も話して恐縮ですが、もう一度見てほしくて、お話ししました。



ただの知識に
なっちまう

出典「天才料理少年 味の助」
宗田豪氏 講談社 より

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。

book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。

これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は is。

1 6 助動詞 can (応用) [解答]

[解答] 助動詞 can (応用) 1 6

問題 8 6 (1) What sport can he play 彼は、どんなスポーツをできますか (～をすることができますか)

(2) What language can you あなたは何語を話せますか

(3) Who can 誰がサッカーをできますか (～をすることができますか)

問題 8 7 (1) Who can swim, Kumi can (2) your sister read an (3) I do for him

(4) can make, Aki can (5) can Aki make (6) What language can you

(7) What sport can he (8) What can / make

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。